

調査事例：尿中ニッケル〔採尿時の汚染〕

環境・健康

酸化ニッケルを取り扱っているA社の作業員（27名）について血中および尿中のニッケル濃度を検査したところ、尿中ニッケルの値が1名だけ異常に高くなりました。この異常に高くなった原因として、血中ニッケルの値、採尿時の状況などから判断し、採尿時の作業服等からの汚染が考えられました。

血中あるいは尿中のニッケルの検査値は〔 $\mu\text{g/L}$ 〕のレベルであり、非常にわずかな量を検査しています。採尿は、作業服・手指等に付着している検査対象物質の汚染がないように、十分注意する必要があります。また、採血・採尿容器についても、脱金属処理をされた容器など検査対象物の汚染がない容器を使用する必要があります。

酸化ニッケル取り扱い者の血中および尿中ニッケル検査結果

被検者	例数	血中ニッケル ($\mu\text{g/L}$)	尿中ニッケル ($\mu\text{g/L}$)
A	1	0.4	165.4
全体 (A除く)	26	0.30 (0.1~0.7)	5.1 (0.4~20.2)

kes サポート

課題	kes サポート
有害物質の体内ばく露状況の調査	生物学的モニタリング
有害物質の体外ばく露状況の調査	個人ばく露モニタリング
有害物質の体外ばく露の情報	作業環境測定
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施